

川崎市における地盤情報等について

①川崎市域の地形・地質

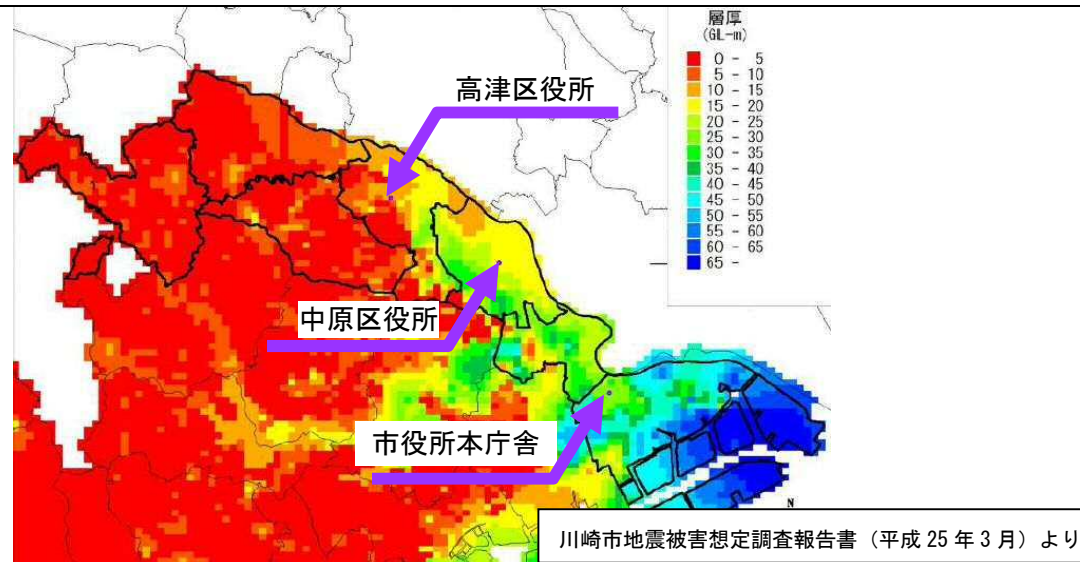
本市は、多摩川に沿い、東京湾から多摩丘陵にかけて細長い形をしており、北西部の多摩丘陵や台地、南東部の多摩川と沖積低地、臨海部の埋立地で形成されています。中原区、幸区の全域及び高津区の南東部、川崎区の北西部は、多摩川と鶴見川に挟まれた沖積低地となっています。
 沖積層は、形成年代が新しく固結度が低く、軟弱地盤となっております。また、地下水位も高く位置し、水分を多く含みます。



高津区役所	中原区役所	市役所本庁舎
沖積低地		

②建物の支持が可能と想定される地盤(基盤層)までの深さ

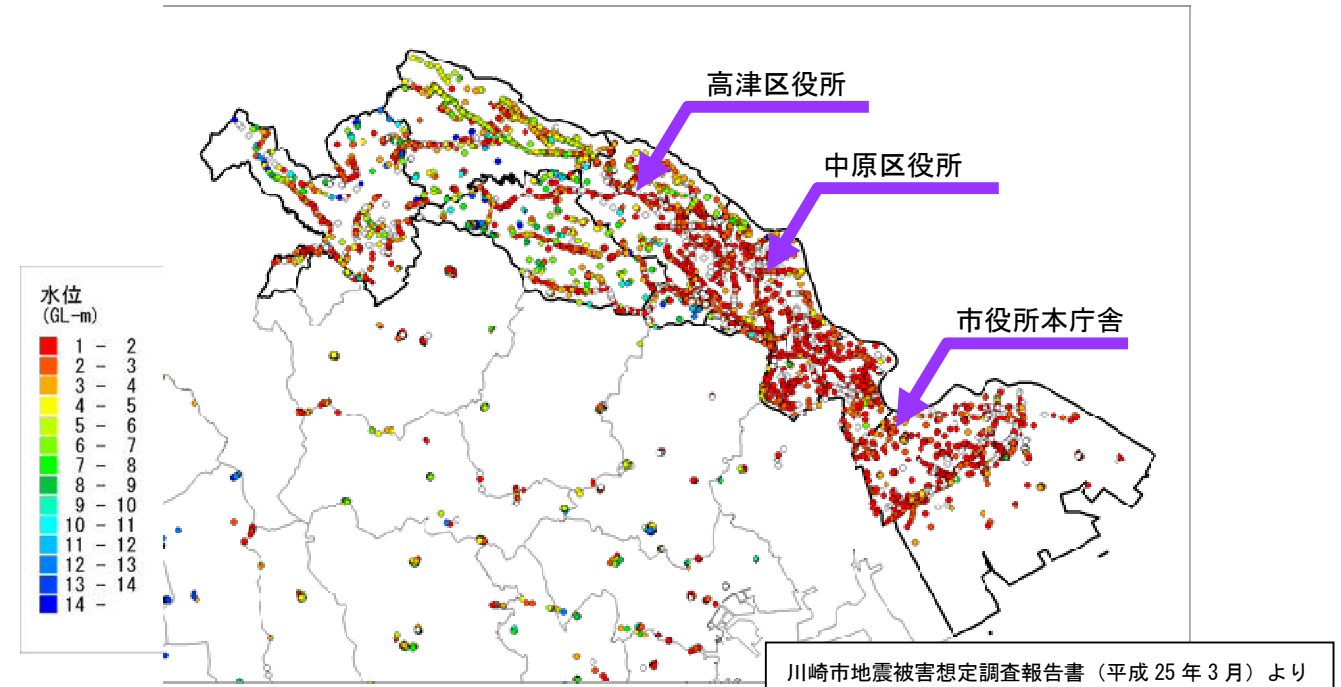
建物の支持が可能と想定される沖積層基底までの深さを示しています。
 ガイドマップかわさきで公開されている地質柱状図によると、各庁舎周辺の基盤層までの深さは高津区役所 12.1m、中原区役所 16.8m、市役所本庁舎 28.6mとなっています。



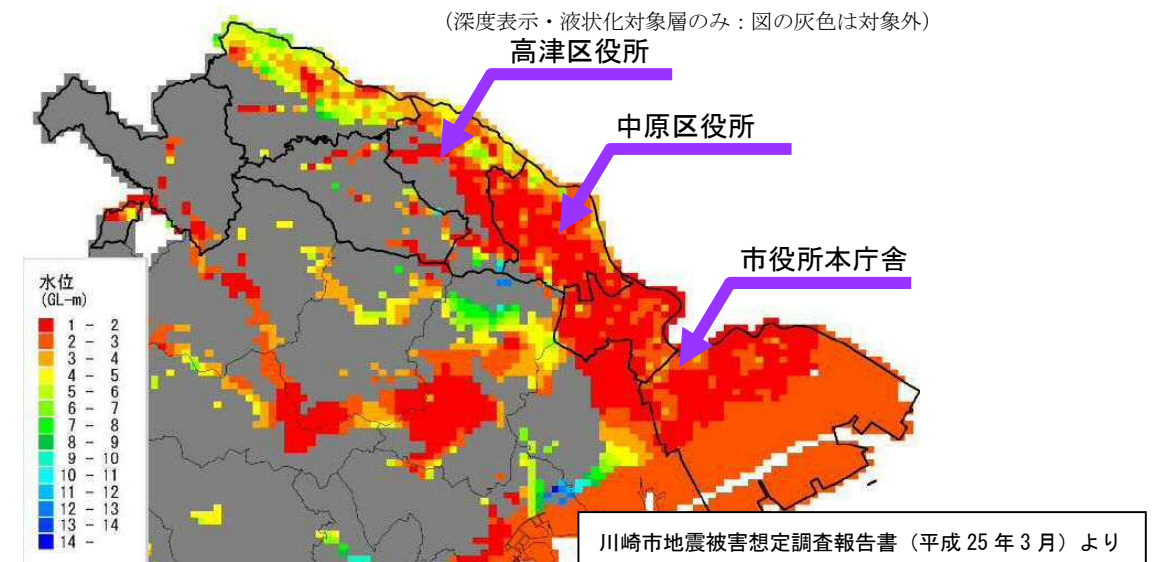
高津区役所	中原区役所	市役所本庁舎
10~15m	15~20m	25~30m

③川崎市域の地下水位 (ボーリングデータの孔内水位)

市内のボーリングデータの孔内水位から求めた地下水位の状況は各庁舎周辺とも地表面 (GL) から 1~3m 程度であり、大きな違いは見られません。



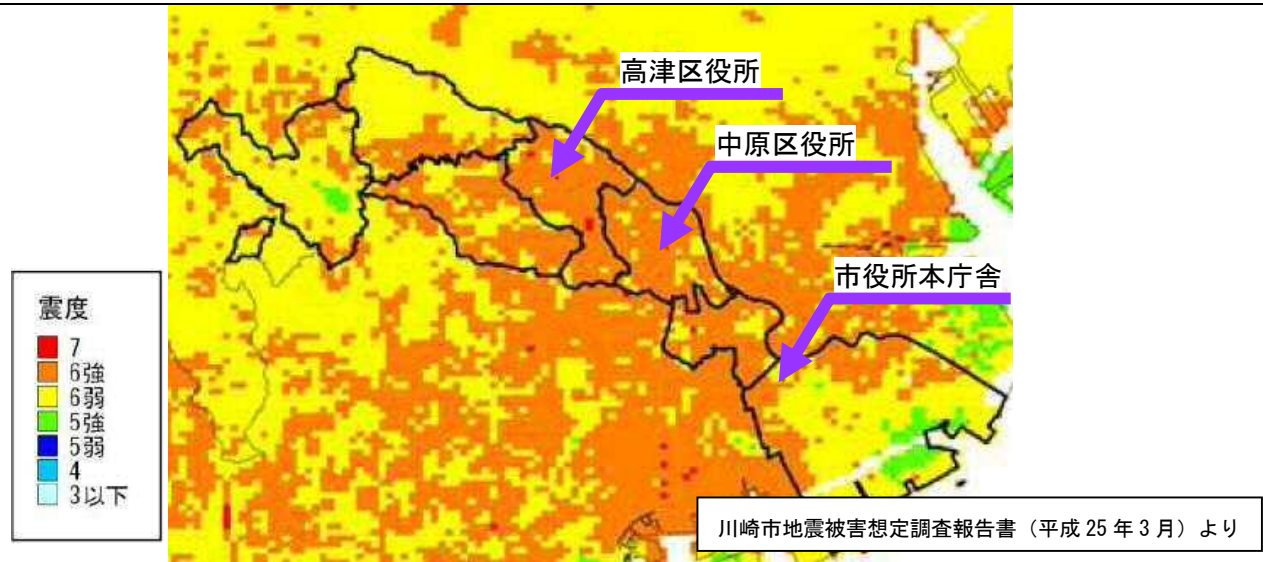
地下水位分布



高津区役所	中原区役所	市役所本庁舎
地表面から 2~3m	地表面から 1~2m	地表面から 2~3m

④想定地震での震度分布（H24 川崎市直下地震）

本市の地震被害想定調査で採用した「H24 川崎市直下地震」は、南関東直下プレート境界型 M7.3 の地震であり、中原区及び高津区役所で震度6強、本庁舎で震度6弱と想定しています。



高津区役所	中原区役所	市役所本庁舎
6強	6強	6弱

⑥多摩川浸水被害予測

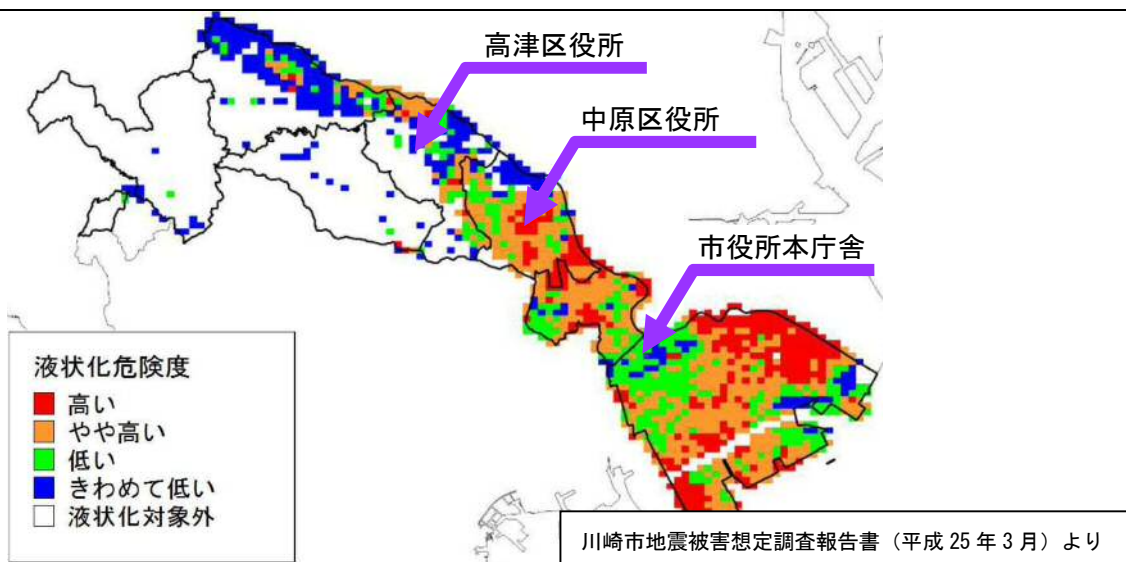
多摩川流域に2日間で総雨量457mmの雨（200年に1度降る可能性）を想定した浸水被害の予測です。



高津区役所	中原区役所	市役所本庁舎
浸水なし	0.5~1m	1~2m

⑤想定地震による液状化危険度

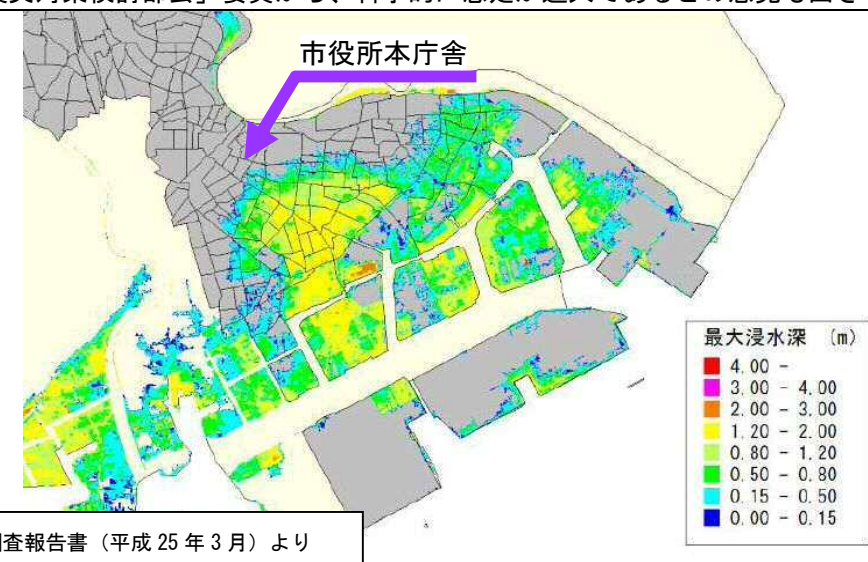
H24 川崎市直下地震における液状化の危険度を示しており、本庁舎と高津区役所周辺では「極めて低い」、中原区役所では「高い」と予測されています。



高津区役所	中原区役所	市役所本庁舎
極めて低い	高い	極めて低い

⑦津波浸水被害予測（慶長型地震）

神奈川県津波浸水予測図(2012)の調査結果において、神奈川県に最も大きな津波被害が生じると予想される1605年の慶長地震を想定した津波浸水被害予測を示していますが、川崎市被害想定調査報告書では川崎市防災対策検討委員会「東日本大震災対策検討部会」委員から、科学的に想定が過大であるとの意見も出されています。



高津区役所	中原区役所	市役所本庁舎
浸水しない	浸水しない	浸水しない

⑧川崎市の緊急交通路・緊急輸送路指定路線図

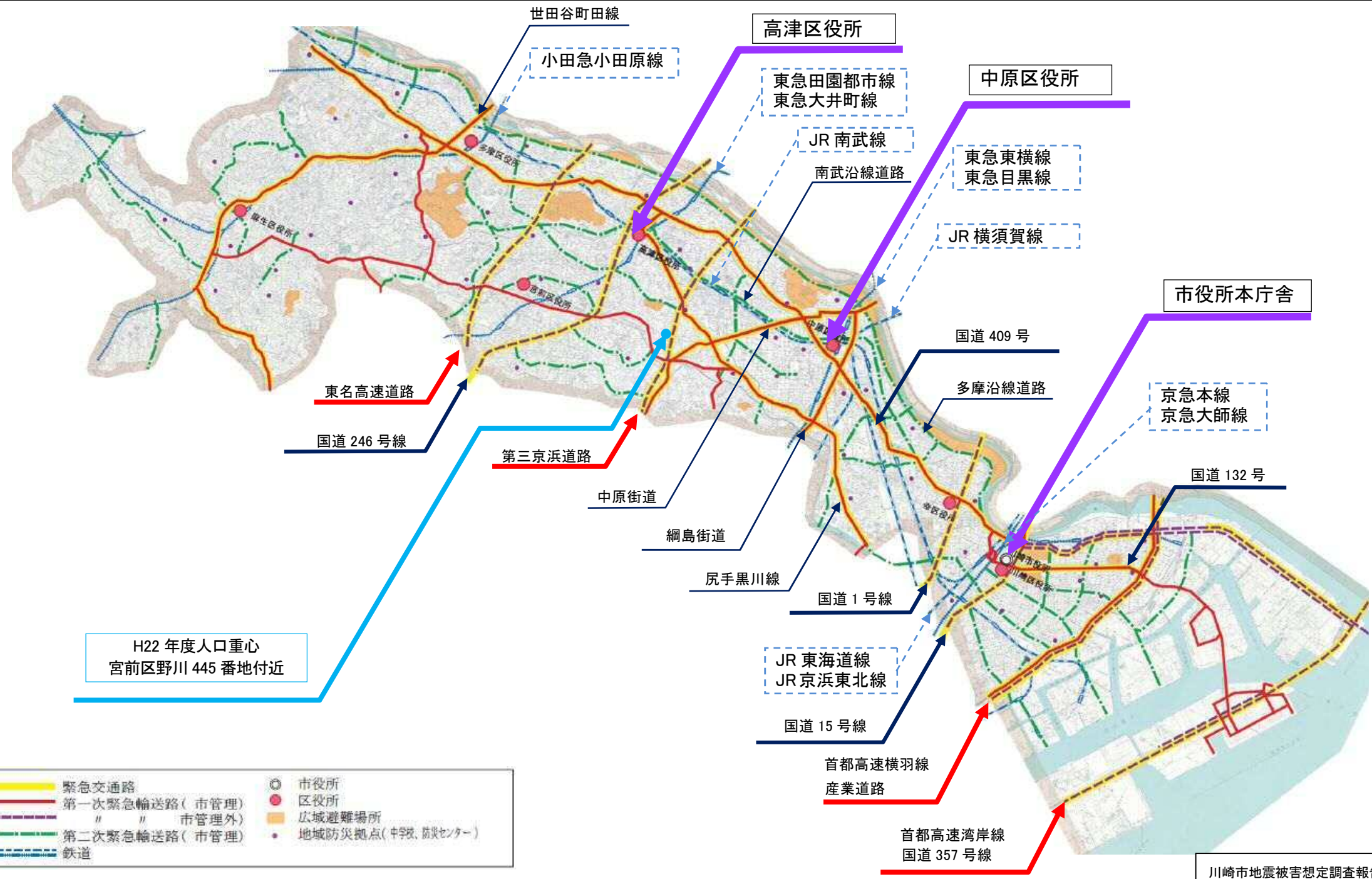
【緊急交通路】

- ・県公安委員会が各道路管理者との協議により大地震発生時における緊急交通路指定想定路線の中から指定する路線です。
- ・被災者の避難及び救出・救助、消火活動等に使用される緊急車両及びこの活動を支援する車両のみ通行可能です。
- ・緊急交通路は、救出・救助活動が一段落した後は『緊急輸送路』に移行します。

移行

【緊急輸送路】

- ・市が災害発生時における被災者の避難及び被災者の生活を確保する物資輸送のために利用する路線として指定する路線です。
- 第1次緊急輸送道路：高規格幹線道路、一般国道等で構成する広域的ネットワーク及び港湾等に連絡する路線で緊急輸送路の骨格をなします。
- 第2次緊急輸送道路：第1次緊急輸送道路を補完し、地域的ネットワークを形成する路線及び市町村庁舎等を連絡する路線です。



川崎市地震被害想定調査報告書 (平成 25 年 3 月) より